学術誌「理学療法とやま」投稿規程

1．本誌の目的

本誌は、一般社団法人 富山県理学療法士会（以下、本会）の学術誌として、理学療法およびその関連領域における論文、記録、資料等を公表する場を提示することを主な目的とする。

2．記事の種類

①研究論文（原著）：新規性および独創性があり、明確な結論を示した論文。
②症例報告：症例の治療および経過等について論理的に提示し、考察を行ったもの。
③実践報告：理学療法の研究・教育・臨床等の実践の中で、新たな工夫や介入、結果等について具体的かつ客観的に情報提示し、その内容が有益と判断されたもの。
④その他：システマティックレビュー、調査報告等、編集委員会で掲載が適切と判断された論文および記事。

3．投稿者の資格

本誌への投稿は原則として本会会員ならびにグループに限るが、特に本会に寄与する論文であれば会員外の投稿も受理する。著者資格については、註1および執筆規程を参照すること。

4．投稿原稿の条件

投稿原稿は、他誌に発表、または投稿中の原稿でないこと。本規程および執筆規程にしたがって作成すること。

5．投稿承諾書

著者の論文への責任および著作権譲渡の確認のため、別紙の投稿承諾書に自筆による署名をして提出すること。

6．利益相反

利益相反の可能性がある事項（コンサルタント料、株式所有、寄付金、特許等）がある場合は、本文中に記載すること。なお、利益相反に関しては、本会が定める「利益相反の開示に関する基準」を遵守し、別紙の利益相反自己申告書を提出すること。

7．著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、本会に属する。また、本誌に掲載された論文はオンライン公開される。

8．倫理的配慮

ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針（註2）に基づき、対象者の保護には十分留意し，説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。

また，研究にあたり，所属研究機関あるいは所属施設の倫理委員会ないしそれに準ずる機関の承認を得ることを必須とし，倫理審査委員会名および承認番号（または、承認年月日）を必ず記載すること。なお，倫理審査委員会より承認の非該当となった場合には，その旨を記載する。

9．原稿の採択

原稿の採択は、査読者の意見を参考にして、学術編集部会において決定する。査読の結果、編集方針に従って原稿の修正をお願いすることがある。修正を求められた場合は、原則2週間以内に修正稿を再提出すること。提出期限を著しく超過した場合は、本規定に反する投稿論文として扱われる可能性がある。また、必要に応じて、学術編集部の責任において字句の訂正をすることがある。

10．校正

著者校正は原則として1回とし、赤字で行う。なお、著者校正の時点では、文章および図表の大幅な変更は原則として認めない。

Presented by Medical*Online

11．掲載に関する費用

原則として、規定分量の範囲内までを無料掲載とし、超過した場合やカラー掲載を認めないものとする。また、理学療法士の免許を有する本会の非会員の投稿には審査料と掲載料を徴収する。詳細は別紙に定める。なお、本会会員権利が停止している会員の投稿についても、同様に審査料と掲載料を徴収する。

12．原稿送付方法および連絡先

1）原稿送付方法

原則として、投稿原稿を電子メールに添付して、下記へ投稿すること。原稿書式等の詳細は、執筆規程に定める。これが不可能な場合は、下記まで問い合わせること。

2）連絡先

一般社団法人 富山県理学療法士会　学術編集部
社会福祉法人恩賜財団済生会
富山県済生会高岡病院
リハビリテーション療法部　　室崎 一彦
〒933-8525　富山県高岡市二塚387-1
TEL：0766-21-0570
E-mail：saiseikai_takaoka_reha_murosaki@yahoo.co.jp

註1：日本医学会 日本医学雑誌編集者会議：日本医学会 医学雑誌編集ガイドライン（http://jams.med.or.jp/guideline/jamje_201503.pdf）

註2：厚生労働省：　研究に関する指針について（https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/index.html））

2019年6月10日 一部改訂
2019年6月30日 より施行

Presented by Medical*Online

学術誌「理学療法とやま」執筆規程

1．論文の構成

1）標題（表題）

内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。原則として略語・略称は用いない。

2）著者名

著者は当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最少の範囲で記載する。著者資格については統一規定（註1）を参照すること。なお、審査開始後の著者の変更は原則認めない。

3）要旨

【目的】【方法】【結果】【結論】について項を分けて簡潔に記載する。また、研究論文（原著）以外の記事においては、著者の判断で項目名を変更してもよい。

4）キーワード

3つとする。

5）本文

本文は原則以下の項目に沿って本文を構成すること。ただし、研究論文（原著）以外の記事においては、著者の判断で項目名を変更してもよい。

①はじめに（序論、緒言）

研究の背景、臨床的意義、研究の目的、取り扱っている主題の範囲、先行研究との関連性の明示などを記述する。

②対象および方法

用いた研究方法について第三者が追試できるように記述する。倫理的配慮も記述
すること。

③結果（成績）

研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。データは、検証、追試を行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で示す方が望ましい。

④考察（分析）

結果の分析・評価、今後の課題、などを記述する。

⑤結論

研究で得られた結論を200～300字で簡潔に記述する。

⑥利益相反

利益相反の有無について記載する。

⑦謝辞

著者資格には該当しない研究への貢献者については謝辞に記載する。

6）文献

引用文献のみとする。

2．投稿原稿の構成

本文、図表、図表の説明文、補遺（Appendix）で構成する。投稿原稿の1枚目（カバーレター）に、投稿希望区分・標題・著者情報（著者氏名・所属）・キーワード・字数（各図表の換算方法も含む）を順に記載し、2枚目より要旨・本文・文献の順に記載すること。

なお、図表は本文に含めず、別途（別ファイル）に分けて提出すること。

3．投稿原稿の書式

1）用紙サイズ

A4縦横書きとする。

2）マージン（余白）

標準（上：35.01mm、下：30mm、左：30mm、右：30mm）とする。

【参考】Microsoft社 Word による設定の仕方
（Word 2007以降のver. 用）
［レイアウト］→［余白］→［標準］を選択する。

3）文字数（一行あたり）、行数

40文字×20行とする。

【参考】Microsoft社 Word による設定の仕方
（Word 2007 以降のver. 用）
［レイアウト］→［余白］→［ユーザー設定の余白］→［文字数と行数］を選択する。

①「文字数と行数の指定」にて、「文字数と行数を指定する」を選択する。

②「文字数」：40、「行数」：20 に設定する。

Presented by Medical*Online

4）段組み
1段とする。
【参考】Microsoft社 Word による設定の仕方
（Word 2007 以降のver. 用）
［レイアウト］→［段組み］→［1段］を選択する。
5）ページ番号の設定
各ページの下部中央にページ番号を入れること。
【参考】Microsoft社 Word による設定の仕方
（Word 2007 以降のver. 用）
［挿入］→［ページ番号］→［ページの下部］→［2］を選択する。
6）行番号の設定
本文の左に行番号を振ること。なお、行番号は1行ずつ表示させ、ページごとに振り直すこと。
【参考】Microsoft社 Word による設定の仕方
（Word 2007以降のver. 用）
［レイアウト］→［行番号］→［ページごとに振り直し］を選択する。
7）フォント
和文（日本語）：MS明朝、英文（英語、英数字）：Century とする。
8）フォントサイズ
10.5ptとする。
9）全角・半角
①和文（日本語）：全角、英文（英語、英数字）：半角とする。
②括弧（上付きも含む）、等号、不等号：全角とする。
【例】（ ）、「 」、＝、＜ ＞、：等
③スラッシュ：半角とする。
【例】／
10）句読点
「、（読点）」「。（句点）」を使用すること。
11）上付き文字
引用文献の数に応じて、以下のとおり記載すること。
①引用文献が、番号の連続した2題の場合：○○[1)2)]
②引用文献が、番号の連続した3題以上の場合：○○[1-3)]
③引用文献が、番号の離れた2題以上の場合：○○[1) 3) 5)]

4．原稿の規程分量
原稿は、要旨・文献・図表を含んで、原則として刷り上がり6頁（400字詰め原稿用紙32枚・12,800字相当）以内とする。図表は、刷り上がり1/4頁大のもの1個を400字詰め原稿用紙1枚として換算すること。

5．標題（表題）
副題を設ける際は「―（エムダッシュ：長線）」で括ることとし、原則として「－（エヌダッシュ：短線）」や「～（ティルト）」は用いない。

6．要旨
原稿には和文の要旨（400字程度）をつけること。なお、著しい分量の超過は認めないものとする。

7．図表
図・写真・表：図・表は本文に出てくる順に、それぞれ一連番号をつけること。グラフィック表現および写真は図に含める。図の番号および表題は図の下に、表の場合は表の上につけること。図・表の転載には投稿前に著者の責任で転載許可をとり、投稿時に許可書を提出すること。 図表の説明（キャプション）は図表の後に記載すること。スライド図・表は投稿用に作成し直すこと。

8．文献
引用文献は本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、西暦年号、巻、頁（最初－最終）の順に書き、単行本の場合は著者氏名、書名、編集者名、発行所名、発行地、西暦年号、頁を記載する。文献名の省略は 米国国立医学図書館（註2）の方法に従うこと。引用文献の著者氏名が3名以上の場合は最初の2名を記載すること。

Presented by Medical*Online

【例】1）宮本謙三，竹林秀晃，他：加齢による敏捷性機能の変化過程―Ten Step Testを用いて―．理学療法学．2008; 35: 35–41.
2）Tompkins J, Bosch PR, et al.: Changes in functional walking distance and health-related quality of life after gastric bypass surgery. Phys Ther. 2008; 88: 928–935.
3）信原克哉：肩―その機能と臨床―（第3版）．医学書院，東京，2001，pp. 156–168.
4）Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap 4. In: Morrissy RT and Weinstein SL（eds）: Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006, pp. 97–112.
5）名郷直樹：EBMの現状と課題，エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際．内山　靖（編），医 歯薬出版，東京，2008，pp. 18–38.
6）厚生労働省ホームページ　障害者白書　平成23年度版．http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h23hakusho/zenbun/index.html（2011年12月19日引用）
7）Abood S: Quality improvement initiative in nursing homes: the ANA acts in an advisory role. Am J Nurs. 2002 Jun [cited 2002 Aug 12]; 102（6）: [about 1 p.]. Available from: http://www.nursingworld.org/AJN/2002/ june/Wawatch.htmArticle
8）Zhang M, Holman CD, et al.: Comorbidity and repeat admission to hospital for adverse drug reactions in older adults: retrospective cohort study. BMJ. 2009 Jan 7;338:a2752. doi: 10.1136/bmj.a2752. PubMed PMID: 19129307; PubMed Central PMCID: PMC2615549.
9）Cancer-Pain.org [Internet]. New York: Association of Cancer Online Resources, Inc.; c2000-01 [updated 2002 May 16; cited 2002 Jul 9]. Available from: http://www.cancer-pain.org/.
10）American Medical Association [Internet]. Chicago: The Association; c1995-2002 [updated 2001 Aug 23; cited 2002 Aug 12]. AMA Office of GroupPractice Liaison; [about 2 screens]. Available from: http://www.amaassn.org/ama/pub/category/1736.html

9．数量の単位

単位は原則として国際単位系（SI単位）を用いる。

【例】長さ：m、質量：kg、時間：s、温度：℃、周波数：Hz等

10．略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

11．機器名の記載法

機器名は、「一般名（会社名、製品名）」で表記する。なお、統計ソフトは「製品名、バージョン番号、会社名」とする。

12．その他

1）必要がない限り表に縦線は使用しないこと。
2）表・図（写真を含む）の挿入位置は本文の右欄外に指示する。
3）本文には行番号およびページ番号を必ず記載する。

13．附則

本規則の改廃は学術編集部会の決議による。その後速やかに一般社団法人 富山県理学療法士会 理事会に報告するものとする。

Presented by Medical*Online

註1：日本医学会　日本医学雑誌編集者会議：日本医学会　医学雑誌編集ガイドライン（http://jams.med.or.jp/guideline/jamje_201503.pdf）

註2：文献の引用例7）～8）は英文電子ジャーナル、9)、10）は英文ホームページの引用例である。詳しくは以下の　米国国立医学図書館ホームページを参照すること。（http://www.nlm.nih.gov/bsd/uniform_requirements.html）

2019年7月 1 日 より施行
2021年6月28日 一部改訂

Presented by Medical*Online